

〈小学校 国語 解説〉

設問 1-1

1 解説

趣旨

話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1-1	1 と解答しているもの	
	2 と解答しているもの	◎
	3 と解答しているもの	
	4 と解答しているもの	
	上記以外の解答	
	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 話の内容を明確に伝えるために、構成を工夫する

自分の考えや伝えたいことを話すスピーチでは、自分の立場や結論等が明確になるように、話の内容を構成することが大切である。その際、話の種類や特徴を意識したり、目的に応じて事実と感想、意見とを区別したりするなどして話の構成を考えることが求められる。

学習指導に当たっては、「なぜ、このようにしたのか」「このような構成にするよさは何か」等、話の構成の効果について考えたことを交流する場面を設定することなどが考えられる。ここでは、本問を活用して、話の内容を明確に伝えるために構成を工夫する学習活動の例を次に示す。

本問を使った学習活動例

「紹介するスピーチの構成を考える」



話の内容が明確になるように、事実と意見とを区別してスピーチの構成を考えましょう。



村本さん

まず一番伝えたいことをはっきりさせ、次に、事実と意見とを区別してメモを並べ替え、構成を考えよう。



太田さん

私は、調理を工夫することで、すてられる野菜をへらしたいということを一番伝えたいな。  
メモの「調理の工夫をしてすてる野菜をへらしたい」が意見で、それ以外は事実だよ。



中川さん

事実と意見が区別できたね。太田さんが一番伝えたい「調理を工夫してすてる野菜をへらしたい」という意見は、[はじめ][中][終わり]のどこで話すの？



太田さん

意見が一番大事にしたいから、スピーチのまとめになるように[終わり]に話したいな。



村本さん

最後に一番伝えたい意見を話すのは、いいと思うよ。「ブロッコリーのしんを使って野菜スープづくりをした」は、太田さんが体験したことだよな。体験したことと一番伝えたい意見とを区別することで、聞き手が理解しやすくなりそう。



太田さん

体験したことを伝えることで、聞き手が「自分にもできそう。やってみよう。」と思ってくれたらうれしいな。[中]で体験したことを詳しく話すことにするよ。事実と意見とを区別して話すことで、聞き手に私の考えが伝わるといいな。

【太田さんが伝えたいことを書いたふせんメモ】

○ブロッコリーのかたい皮をむぎ、短く切りにして、にた。	○ブロッコリーのしんを使って野菜スープづくりをした	○すてられる野菜がある	○年間五百二十三万トンの食品がすてられている	○調理の工夫をしてすてる野菜をへらしたい
↑	↑	↑	↑	↑
事実	事実	事実	事実	意見

【太田さんが話し合い後に並べ替えたふせんメモ】

○調理の工夫をしてすてる野菜をへらしたい	終わり	○ブロッコリーのかたい皮をむぎ、短く切りにして、にた。	○ブロッコリーのしんを使って野菜スープづくりをした	○すてられる野菜がある	中	○年間五百二十三万トンの食品がすてられている	はじめ
----------------------	-----	-----------------------------	---------------------------	-------------	---	------------------------	-----

みんなと話したら構成がすっきりしたな。[はじめ]に食品ロスの説明をして、[中]で体験したこと[終わり]で意見を話そう。



太田さん

「なぜ、このようにしたのか」「このような構成にするよさは何か」等、話の構成の効果について考えたことを交流する場面を設定すると効果的です。

設問 1 二

1 解説

趣旨

資料を用いた目的を理解することができかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと  
ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

解答類型

問題番号	解答類型		正答
1	二	1 と解答しているもの	
		2 と解答しているもの	
		3 と解答しているもの	◎
		4 と解答しているもの	
		上記以外の解答	
		無解答	

2 学習指導に当たって

○ 自分の考えが伝わるように資料を活用する

「資料を活用する」とは、音声言語だけでは理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合等に、資料を使いながら話すことである。その際、聞き手の立場に立った上で、話す内容を見直すとともに、目的に応じて、どのような資料を準備し、どのように使うかということを確認にすることが大切である。

資料を用いる目的は、説明を補足すること、伝えたいことを強調すること、聞き手に正確に理解してもらうことや一緒に考えてもらうこと、新たな興味をもってもらうこと等が考えられる。

実際に用いる資料としては、必要な文言や数値等の引用や実物、画像や映像等の使用、図解したものや重要な語句の定義付け等の明示が挙げられる。その際、目的や相手、状況等を踏まえ、話す内容と資料の整合、適切な時間や機会での資料の提示の仕方や量等にも注意する必要がある。

実際の授業場面では、情報収集の際に集めた資料をすべて使おうとする児童の姿も見られる。そのような際には、自分の伝えたいことを伝えるために必要な資料は何かを、目的や相手、状況に応じて取捨選択できるように指導していくことが大切である。

設問1三

1 解説

趣旨

言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して、話し方を工夫できるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕知識及び技能

イ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。

〔第3学年及び第4学年〕思考力・判断力・表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 書き出しの言葉に続けてAに工夫して話す目的、Bに話し方の工夫を書いている。 ② AとBに関連があること。	
	(正答例) ・ (聞き手に) 共感してもらう (ために、) 最後の言葉を上げて話す (ことにしよう。) ・ (聞き手に) 自分も試そうという思いをもってもら (ために、) 強く話す (ことにしよう。) *教師判定	
	条件①、条件②を満たして解答しているもの	◎
	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの (例) ・ (聞き手に) 理解してもらう (ために、) 強く話す (ことにしよう。)	
	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) ・ (聞き手に) 考えてもらう (ために、) 質問する (ことにしよう。) ・ (聞き手に) 聞いてもらう (ために、) ゆっくりと話す (ことにしよう。)	
	上記以外の解答	
	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 言葉の抑揚や強弱、間の取り方等に注意して話し方を工夫する

話す際に、言葉の抑揚、強調、間の取り方等の話し方に注意することを理解し、それらを適切に使うことができるようにすることが大切である。また、目的を意識し、話し方を工夫できるように

することが重要である。

指導に当たっては、話す内容に応じて、声の上げ下げに注意したり、特定の語や表現の一部を他よりも強調したりして、話の内容が相手に伝わるようにすることや伝えたい内容を聞き手に理解してもらうために間を取ることなど、話の内容が相手に伝わる話し方で話すよう指導するとともに、様々な場面で話すことを通して、繰り返し表現の工夫を行う場を設けることが有効である。また、自分や友達の発表の様子を録画し、観点に沿って振り返るなど、ICT機器を活用することも有効である。